

みたか環境ひろば 第71号

令和2年4月1日号



新型コロナウイルスと環境問題

令和2年3月7日に、環境講座『地球が壊れる前に』上映会&西原智昭氏トークセッションを予定していましたが、今般の新型コロナウイルスの影響に伴い、中止となりました。とても残念ですが、またの機会があれば、と思います。

環境講座の中止にとどまらず、新型コロナウイルスの影響は多方面に及んでいます。同じく開催中止となったイベントは沢山ありますし、マスク不足等も社会問題となっています。

先日、立ち寄った食料品店では、今までは個包装されていなかった食材が、個包装されていました。これは、新型コロナウイルスの感染防止策のようです。食材を購入する側からすれば、「個包装となっていれば、より安心」という気持ちになります。が、「ごみの減量化」という環境問題の視点からすれば、個包装の分だけごみが増えてしまうことになりますので、複雑な気持ちになります。



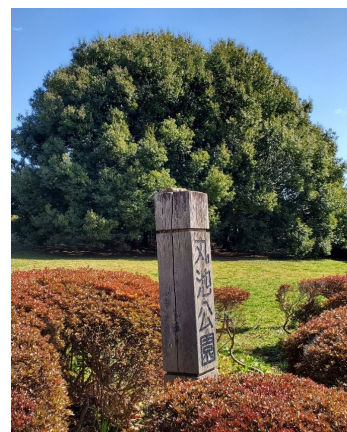
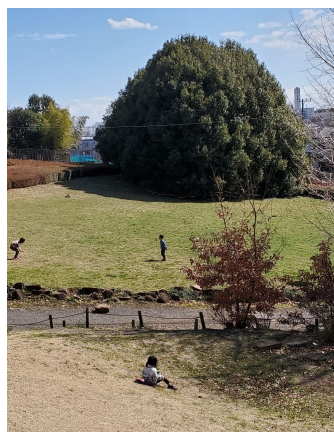
新型コロナウイルス対策は、私たちの生命や健康を守るために、とても大事なことです。が、その裏側に、環境問題があることをきちんと意識する必要があります。（鈴木）



新川丸池公園 丸池の里

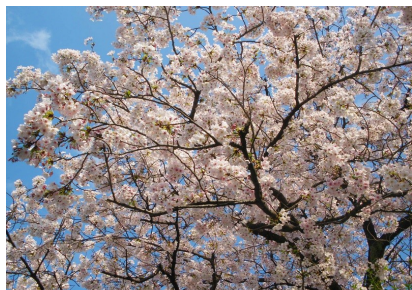
新川丸池公園は、仙川の流れに沿って仙川公園、勝淵神社から連なる野趣たっぷりの自然系公園。この辺りは、今でも湧水源が散在しています。都市化により、丸池には埋め立ての危機が迫りましたが、市民が行政と協力して整備・復活させた歴史があります。現在は、地下水をくみ上げ循環させている清らかな流れに、子どもたちが声をあげて遊んでいます。池の周囲には、「この木なんの木気になる木」を思い起こさせる巨木が原っぱにそびえていて、周辺にはたくさんのどんぐりが散らばっています。実は、一本の木ではなく10数本の木が連なり森のようになっています。爽やかな風吹きぬける原っぱ、小高い山、少し離れて梅園などが配置されていて、都会の住宅街の片隅に設置された憩いのスペースです。小さな子供連れの方でも気軽に立ち寄れます。子どもたちは草の傾斜をすべったり、家族連れはでこぼこした原っぱにシートを広げ、自然の中でくつろいでいました。四季折々、いろいろな表情を見せてくれます。

三鷹には、まだまだ自然が残されています。（中井）



★自然豊かな丸池公園 ★

「いつもと違う春、でも。」



新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、予防などで多くの人びとの生活にいつもと違う事が起きています。学校の休校、催し物、スポーツなどの中止、延期、自粛、友人との会食なども控えたり…。トイレトペーパーを並んで買い、東日本大震災の時を思い出しました。あの時も、もちろん卒業式ができなかったところもたくさんありました。

新型コロナウイルスが世界的に広がってしまい、いつ頃おさまるのか分かりませんが、何回も言われているように、皆がそれぞれ出来る対策をしっかりとるしかありません。いつもと違う春を過ごす感じがする事もあるかと思いますが、桜も今年は家の近くの本一本をじっくり、ゆっくり見てみたいと思います。（石川）

公園と魅力ある町づくり

一 公園の機能

都市公園の機能は、国民の体力の向上、コミュニティーセンター、スポーツの新興、増大するレクリエーション需要に対応するために必要性が主張されてきました。

しかし大都市圏の住宅地においては、大震災時における避難地として機能する公園の設置および整備の必要性が増大しています。また震災後の仮設住宅としても活用可能な公園を増設する必要性も高まってきています。

三鷹市では地価の高騰、均分相続の増加等による農地の減少及び戸建住宅の敷地面積が狭くなり、災害等による延焼の危険性が増大しています。災害時に生命・身体の安全確保のためには、防災公園を増設することも必要だと思えます。

二 魅力ある都市公園づくり

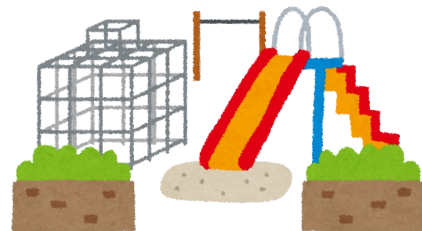
地域の公園が、豊かな生活環境の指針となり地域の魅力向上や活性化を図るため良好な景観形成の場所になるためには、多くの市民参加による個性ある場所を創出する必要があると考えます。

三鷹らしさを持った個性豊かな公園を創出すれば、地域の顔となり多くの来園者が訪れれば交流の場所となり環境・防災の拠点ともなります。魅力ある公園づくりには、行政と市民の協働と同時に公園の管理運営も市民参加によることが円滑な運営をするための要件になります。

三 屋上公園

都市公園も地方分権の考えかたから、都市公園の区域を立体的に定めることができる立体都市公園制度があります。実際に、立体都市公園を整備した地方公共団体もあります。

一般的には、中央線の駅前地域は用地取得が困難と言われています。三鷹駅前地域に屋上公園を設置して井の頭公園と一体化し、三鷹駅前商店街にも多くの観光客が立ち寄ってくれば三鷹駅前商店街の活性化にも役立つと思っています。（斎藤）



編集後記

春の到来。一足先に梅の花が香り高く咲き、そして桜の開花となる。梅と桜に花の違いについてご存じだろうか？両者ともに、バラ科サクラ属であり、遠くから見ると白と淡いピンクの違いであろう。近くで見ると、枝に花のつき方の違いがある。小枝からさらに長い茎（花柄）にぶら下がり咲くのが桜（さくらんぼ）である。三鷹は桜の路がとても多く、見ごたえのある場所が多い。のんびりと散策をお勧めしたい。（平澤）

次の発行は令和2年7月の予定です。

発行：みたか環境活動推進会議
(愛称 みんなの環境)

連絡先：三鷹市生活環境部環境政策課
電話 0422-45-1151 内線2525
E-mail:kankyo@city.mitaka.lg.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。